



2018年10月23日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

全国中小企業動向調査結果

(2018年7-9月期実績、10-12月期以降見通し)

小企業の景況

(原則従業員20人未満)

小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる

(前回)持ち直しの動きがみられる

- 業況判断DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲25.6となった。
来期はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、前期から横ばいの▲20.1となった。
来期はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲13.4となった。
来期はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 11ページ

■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

| 業況判断DI | 売上DI | 採算DI | 資金繰りDI | 借入DI |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ▲25.6(▲10.0) | ▲20.1(▲0.0) | ▲13.4(▲1.0) | ▲10.1(▲0.0) | ▲11.0(▲0.0) |

中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

中小企業の景況は、緩やかに回復している

(前回)緩やかに回復している

- 業況判断DIは、前期から低下し、6.2となった。
来期以降は上昇する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、前期から上昇し、15.9となった。
来期は上昇、来々期は低下する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲2.2となった。
来期以降は上昇する見通し。 ← 21ページ

| 業況判断DI | 売上DI | 純益率DI | 資金繰りDI | 長期借入難易DI |
|-------------|-------------|------------|------------|-------------|
| ▲10.0(▲0.0) | ▲15.9(▲0.0) | ▲2.2(▲0.0) | ▲6.2(▲0.0) | ▲10.0(▲0.0) |

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:鈴木、中谷)
 中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703(担当:山口、藤井)
 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティノースタワー

目次

調査結果の概要・・・・・・・・・・・・・ 1

【小企業編】

| | |
|---------------------------|----|
| 概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 3 |
| 調査の実施要領・・・・・・・・・・・・・ | 4 |
| 業況判断・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 5 |
| 売上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 10 |
| 採算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 11 |
| 資金繰り、借入・・・・・・・・・・・・・ | 12 |
| 経営上の問題点・・・・・・・・・・・・・ | 13 |
| 設備投資、価格動向・・・・・・・・・・・・・ | 14 |

【中小企業編】

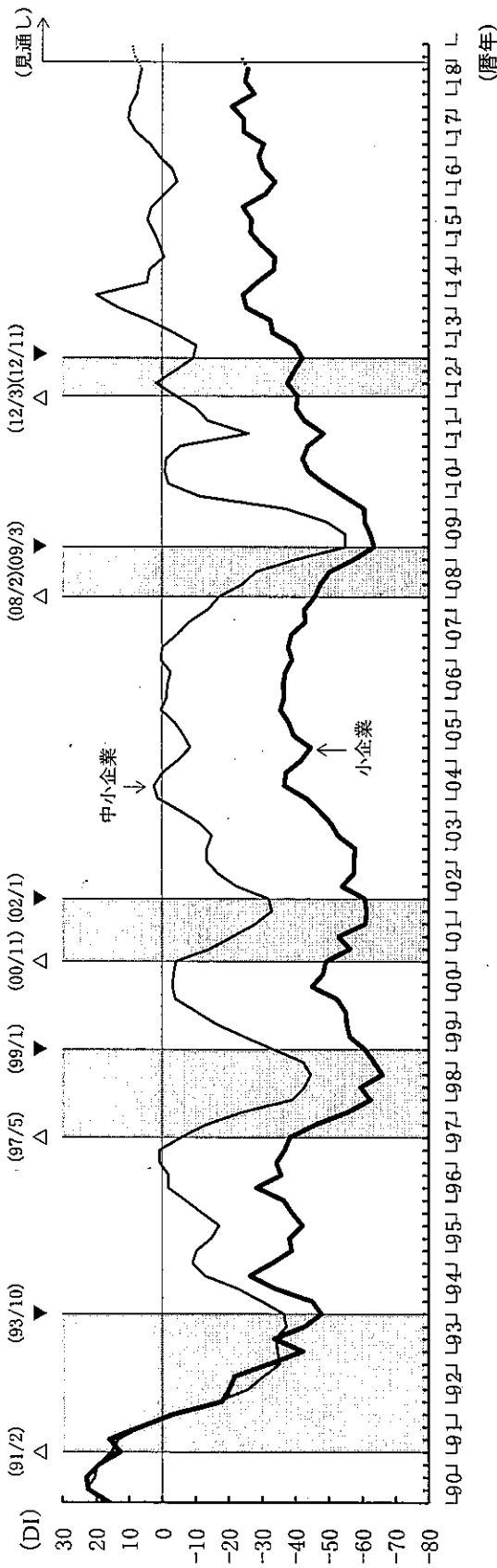
| | |
|----------------------------|----|
| 概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 15 |
| 調査の実施要領・・・・・・・・・・・・・ | 16 |
| 業況判断・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 17 |
| 売上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 20 |
| 利益・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 21 |
| 価格、金融関連・・・・・・・・・・・・・ | 22 |
| 雇用、設備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 23 |
| 経営上の問題点・・・・・・・・・・・・・ | 24 |

調査結果の概要

1 業況判断DIの推移

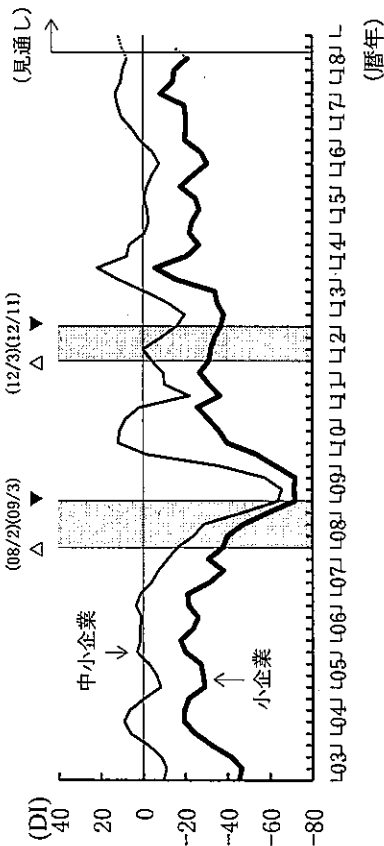
①全業種計

| | 16.7-9 | 16.10-12 | 17.1-3 | 17.4-6 | 17.7-9 | 17.10-12 | 18.1-3 | 18.4-6 | 18.7-9 | 18.10-12 | 19.1-3 |
|------|--------|----------|--------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|----------|--------|
| 中小企業 | ▲ 3.0 | 1.0 | 3.7 | 8.1 | 10.2 | 9.6 | 7.6 | 7.1 | 6.2 | 見通し | 見通し |
| 小企業 | ▲ 30.2 | ▲ 28.9 | ▲ 30.4 | ▲ 24.4 | ▲ 24.5 | ▲ 20.8 | ▲ 27.6 | ▲ 24.9 | ▲ 25.6 | ▲ 23.5 | - |



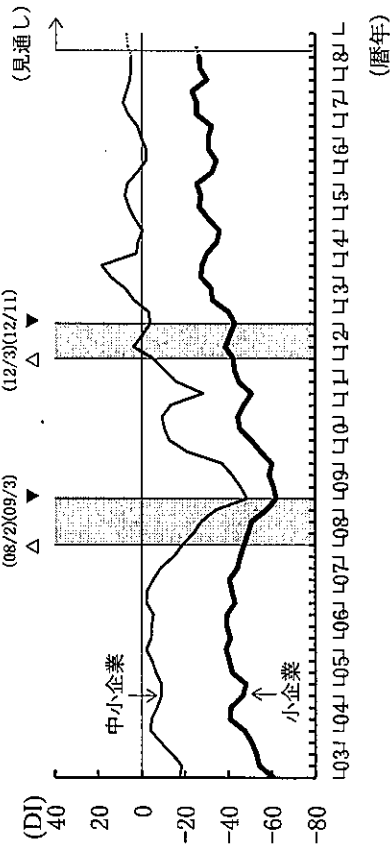
②製造業

| | 18.1-3 | 18.4-6 | 18.7-9 | 18.10-12 | 19.1-3 |
|------|--------|--------|--------|----------|--------|
| 中小企業 | 10.6 | 9.8 | 7.8 | 10.2 | 見通し |
| 小企業 | ▲ 14.2 | ▲ 14.9 | ▲ 21.1 | ▲ 14.8 | - |



③非製造業

| | 18.1-3 | 18.4-6 | 18.7-9 | 18.10-12 | 19.1-3 |
|------|--------|--------|--------|----------|--------|
| 中小企業 | 5.5 | 5.1 | 5.0 | 6.6 | 見通し |
| 小企業 | ▲ 30.0 | ▲ 26.8 | ▲ 26.5 | ▲ 25.1 | - |

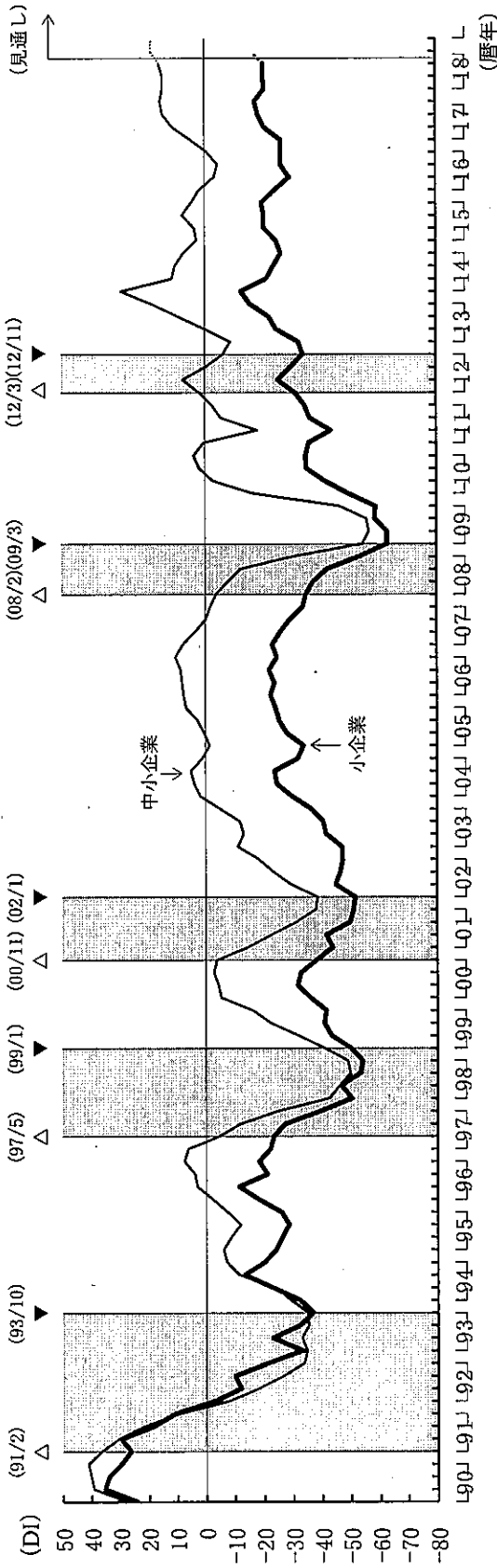


- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。
 3 ▲は景気の山、▼は景気の谷、▼は景気後退期を示す(以下同じ)。

2 売上DIの推移

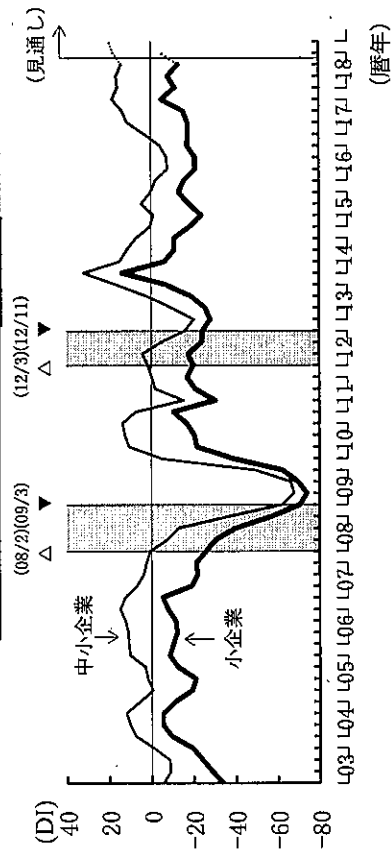
①全業種計

| | | | | | | | | | | | |
|------|--------|----------|--------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|----------|--------|
| | 16.7-9 | 16.10-12 | 17.1-3 | 17.4-6 | 17.7-9 | 17.10-12 | 18.1-3 | 18.4-6 | 18.7-9 | 18.10-12 | 19.1-3 |
| 中小企業 | ▲ 4.6 | ▲ 0.8 | 4.8 | 11.1 | 14.6 | 15.4 | 14.7 | 14.7 | 15.9 | 18.8 | 見通し |
| 小企業 | ▲ 26.5 | ▲ 26.4 | ▲ 26.4 | ▲ 20.5 | ▲ 18.5 | ▲ 17.3 | ▲ 20.6 | ▲ 20.1 | ▲ 20.1 | ▲ 16.2 | - |



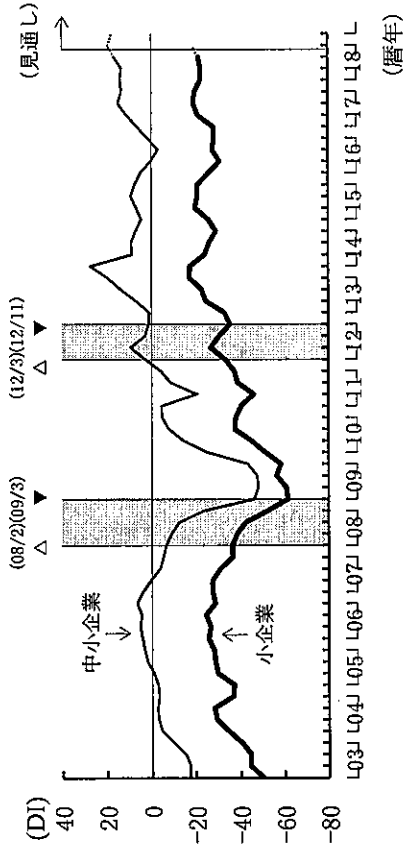
②製造業

| | | | | | |
|------|--------|--------|--------|----------|--------|
| | 18.1-3 | 18.4-6 | 18.7-9 | 18.10-12 | 19.1-3 |
| 中小企業 | 15.9 | 16.6 | 14.2 | 17.9 | 20.0 |
| 小企業 | ▲ 11.5 | ▲ 8.0 | ▲ 12.8 | ▲ 4.4 | - |



③非製造業

| | | | | | |
|------|--------|--------|--------|----------|--------|
| | 18.1-3 | 18.4-6 | 18.7-9 | 18.10-12 | 19.1-3 |
| 中小企業 | 13.9 | 13.3 | 16.7 | 19.3 | 17.7 |
| 小企業 | ▲ 22.2 | ▲ 22.3 | ▲ 21.4 | ▲ 18.4 | - |



(注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値 (季節調整済)。

小 企 業 編

(2018年7-9月期実績、10-12月期見通し)

小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる

[調査の実施要領]

調査時点 2018年9月中旬
 調査対象 当公庫取引先 10,000 企業
 有効回答数 6,905 企業 [回答率 69.1 %]

〈業種構成〉

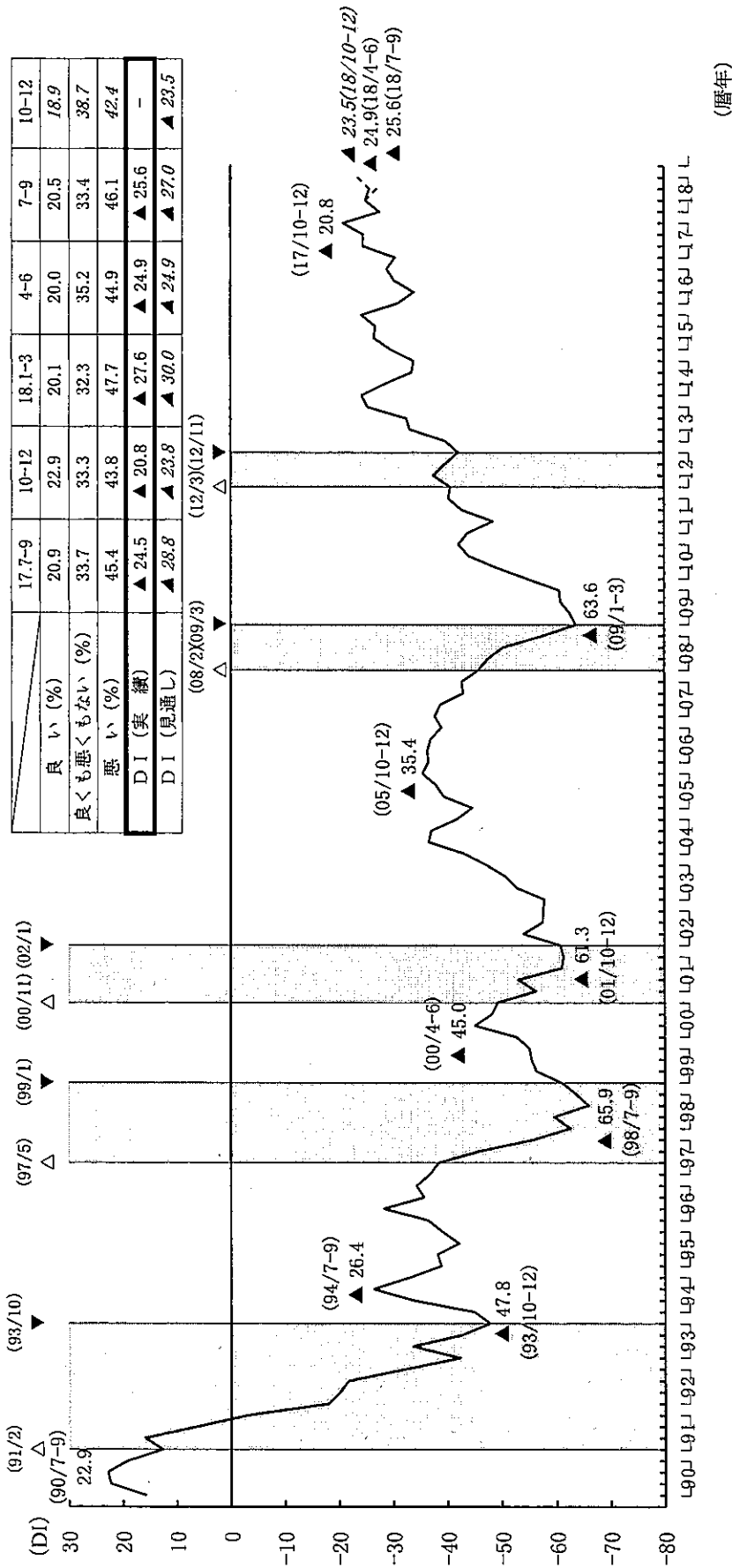
| | 調査対象 | 有効回答数 | 構成比 |
|---------|---------------------|----------|--------------|
| 製造業 | (従業員20人未満) 1,500 企業 | 1,061 企業 | (構成比 15.4 %) |
| 卸売業 | (同 10人未満) 800 企業 | 603 企業 | (同 8.7 %) |
| 小売業 | (同 10人未満) 2,450 企業 | 1,617 企業 | (同 23.4 %) |
| 飲食店・宿泊業 | (同 10人未満) 1,800 企業 | 1,100 企業 | (同 15.9 %) |
| サービス業 | (同 20人未満) 2,000 企業 | 1,425 企業 | (同 20.6 %) |
| 情報通信業 | (同 20人未満) 160 企業 | 100 企業 | (同 1.4 %) |
| 建設業 | (同 20人未満) 1,100 企業 | 840 企業 | (同 12.2 %) |
| 運輸業 | (同 20人未満) 190 企業 | 159 企業 | (同 2.3 %) |
| | (参考) | | |
| | 法人 | 4,561 企業 | (構成比 66.1 %) |
| | 個人 | 2,344 企業 | (同 33.9 %) |

1 業況判断

○ 今期の業況判断DI（全業種計）は、前回調査（2018年4-6月期）からマイナス幅が0.7ポイント拡大し、▲25.6となった。

○ 来期は、マイナス幅が縮小し、▲23.5となる見通しである。

図-1 業況判断DIの推移（全業種計）



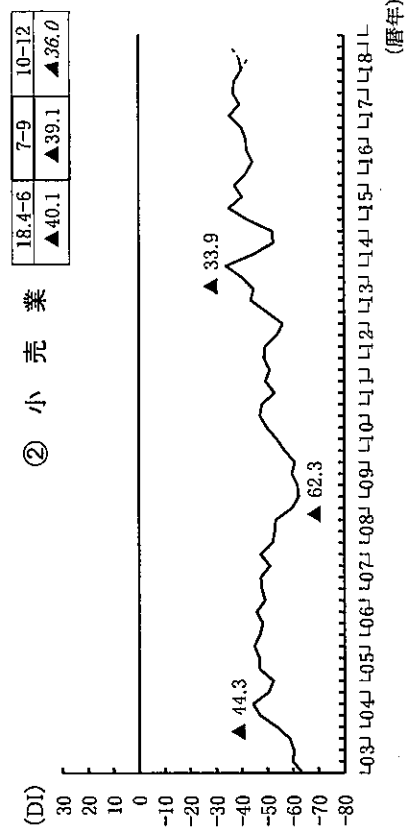
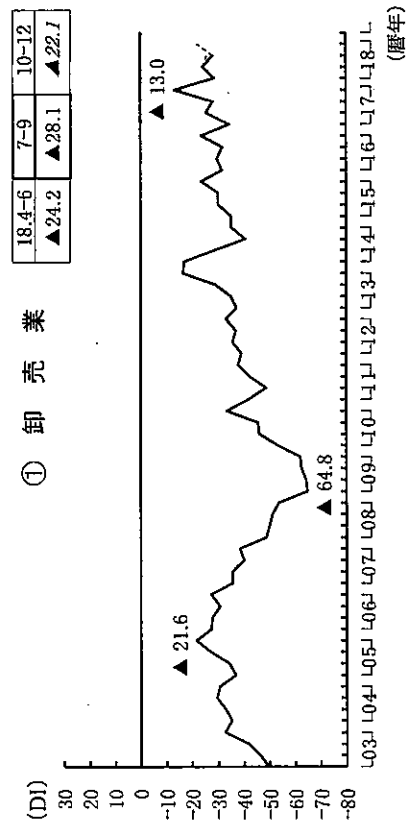
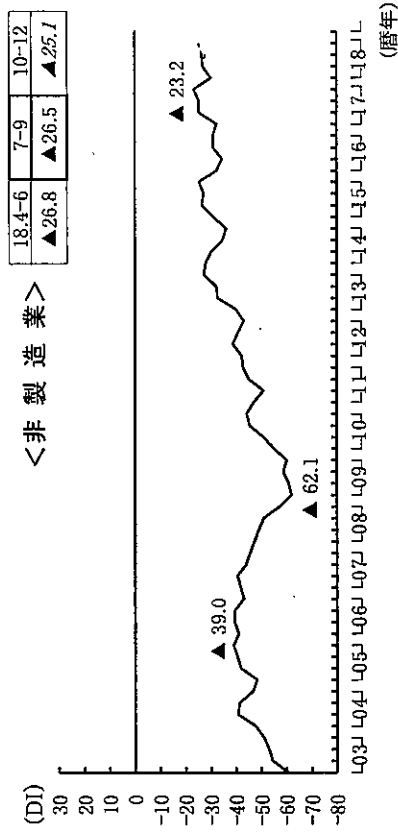
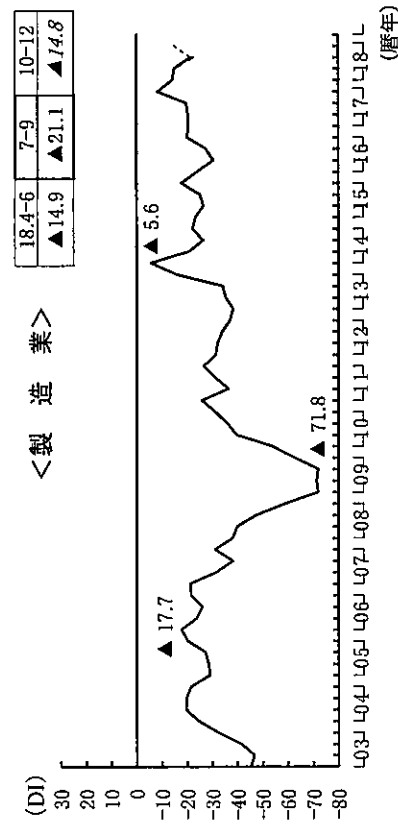
(注) 1 DIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 ——— は実績、·········· は見通し。斜体は見通しの値を示している。

○ 業況判断DIを業種別にみると、製造業（▲21.1）ではマイナス幅が拡大、非製造業（▲26.5）ではほぼ横ばいとなった。非製造業を構成する大分類業種のうち、卸売業とサービス業を除く全ての業種でマイナス幅が縮小した。

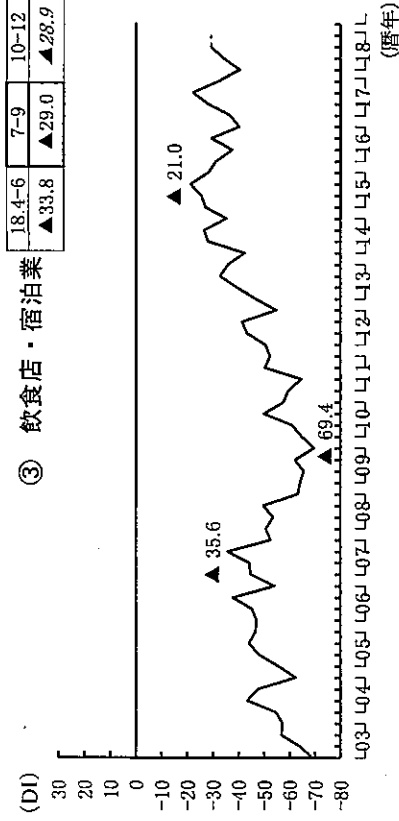
○ 来期は、製造業、非製造業ともにマイナス幅が縮小する見通しである。

図一 2 業種別業況判断DIの推移



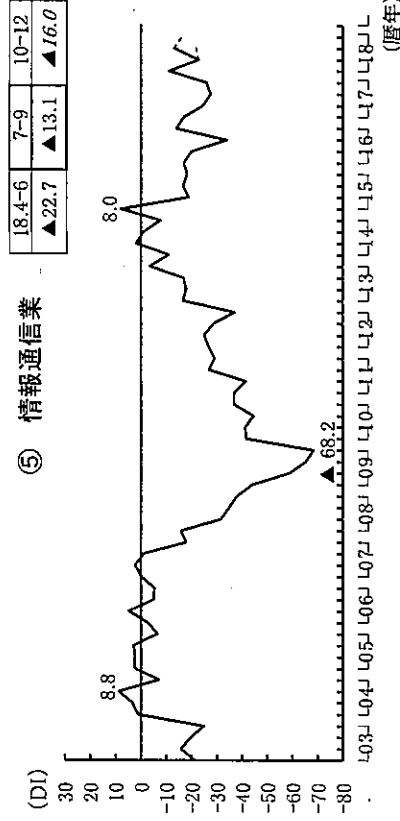
③ 飲食店・宿泊業

| | | |
|--------|-------|-------|
| 18.4-6 | 7-9 | 10-12 |
| ▲33.8 | ▲29.0 | ▲28.9 |



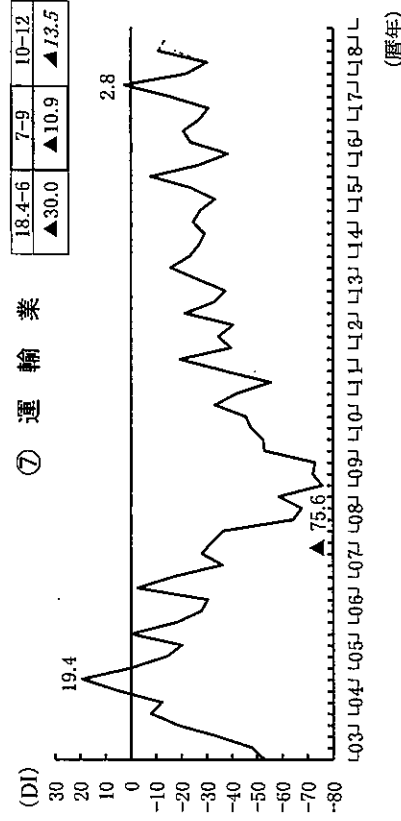
⑤ 情報通信業

| | | |
|--------|-------|-------|
| 18.4-6 | 7-9 | 10-12 |
| ▲22.7 | ▲13.1 | ▲16.0 |



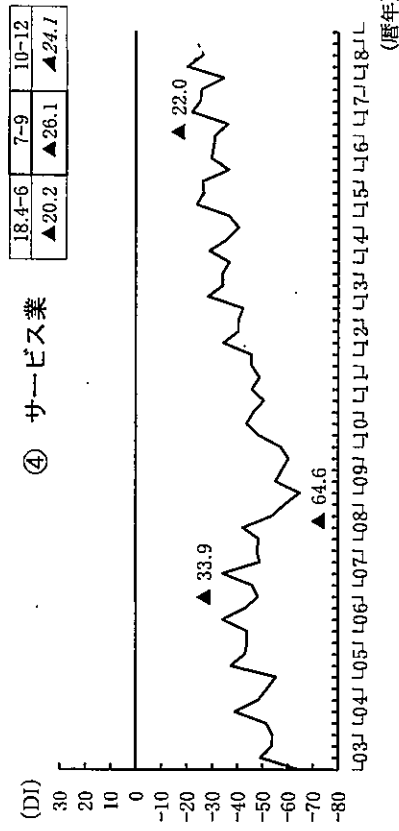
⑦ 運輸業

| | | |
|--------|-------|-------|
| 18.4-6 | 7-9 | 10-12 |
| ▲30.0 | ▲10.9 | ▲13.5 |



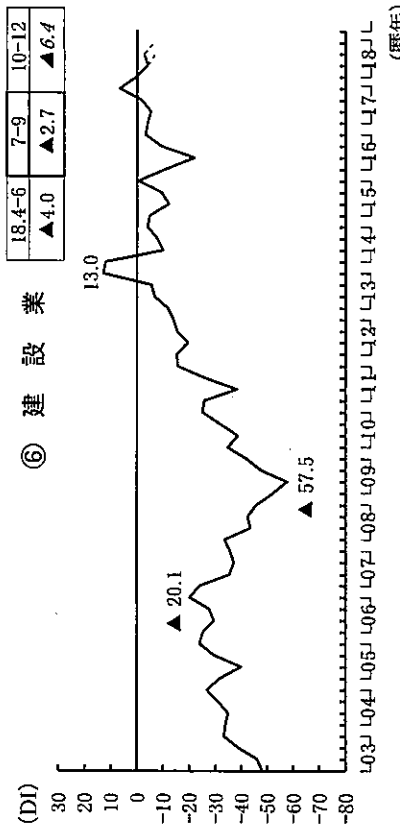
④ サービス業

| | | |
|--------|-------|-------|
| 18.4-6 | 7-9 | 10-12 |
| ▲20.2 | ▲26.1 | ▲24.1 |



⑥ 建設業

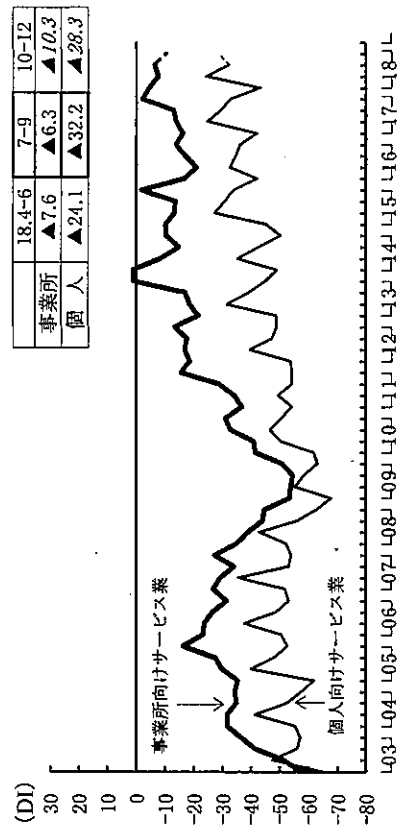
| | | |
|--------|------|-------|
| 18.4-6 | 7-9 | 10-12 |
| ▲4.0 | ▲2.7 | ▲6.4 |



(参考) 個人向けサービス業と事業所向けサービス業の業況判断DIの推移

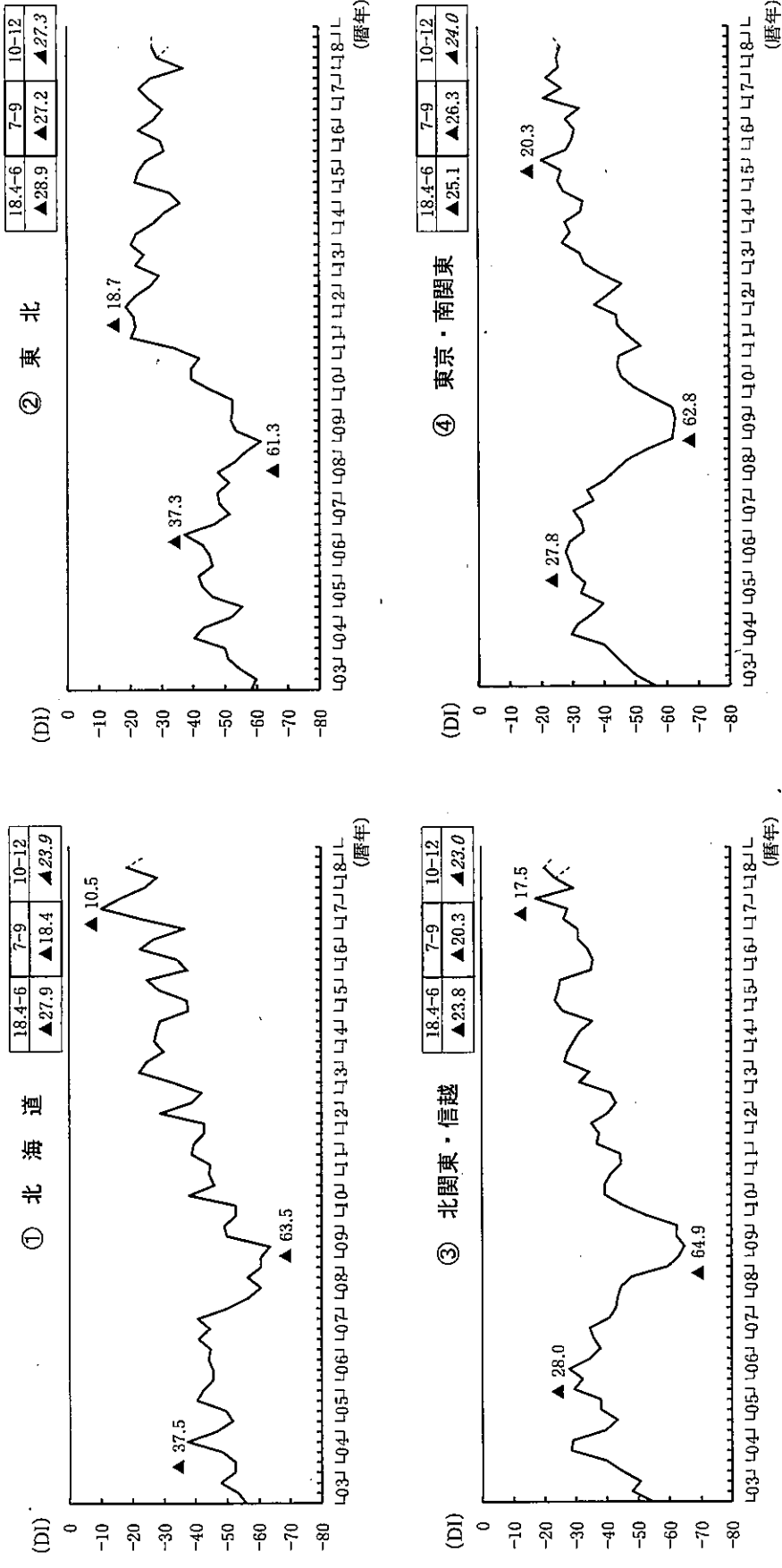
個人向けサービス業

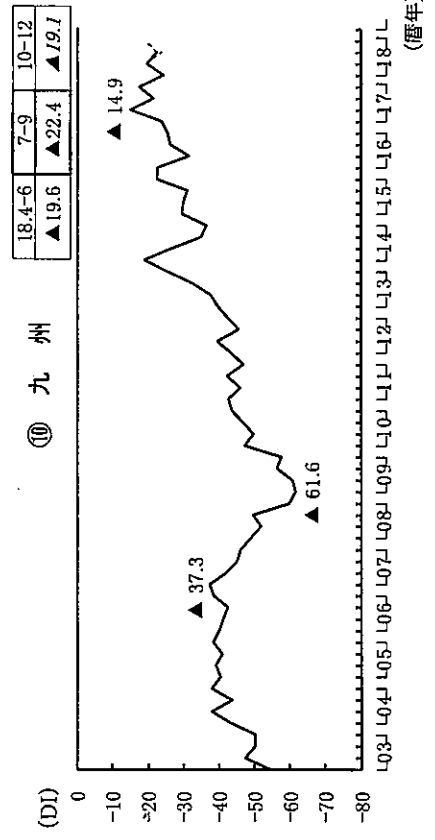
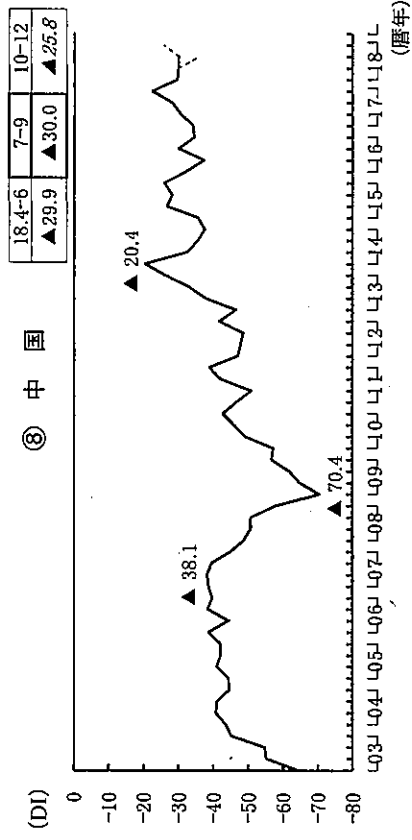
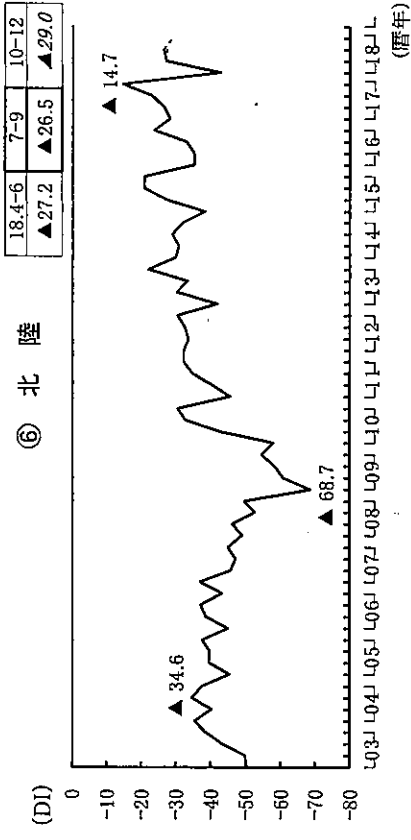
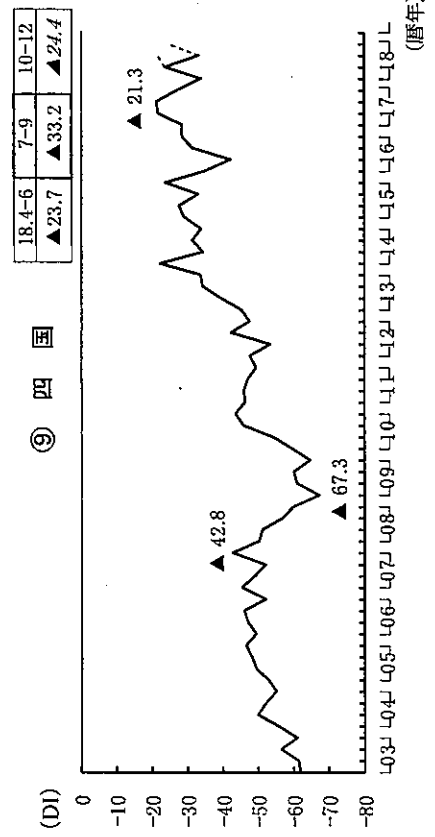
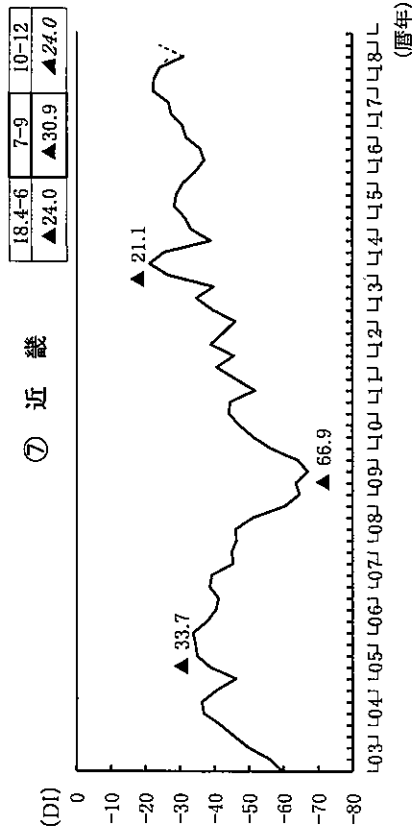
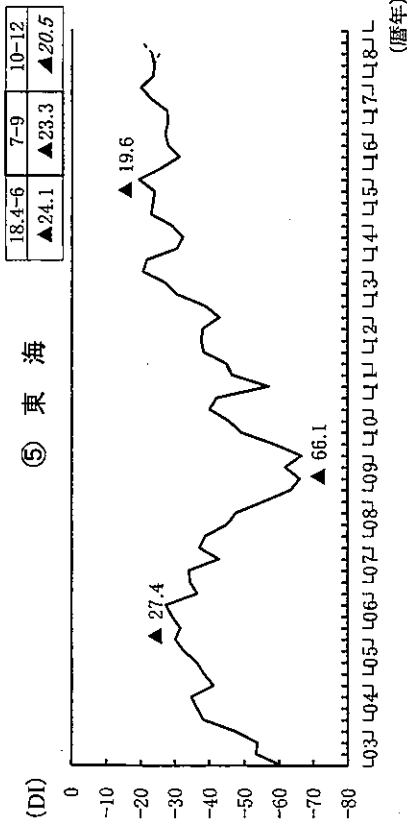
| | | |
|--------|-------|-------|
| 18.4-6 | 7-9 | 10-12 |
| ▲7.6 | ▲6.3 | ▲10.3 |
| ▲24.1 | ▲32.2 | ▲26.3 |



- 業況判断DIを地域別にみると、東京・南関東、近畿、中国、四国、九州の各地域でマイナス幅が拡大した。
- 来期は、北海道、東北、北関東・信越、北陸を除く全ての地域でマイナス幅が縮小する見通しである。

図-3 地域別業況判断DIの推移

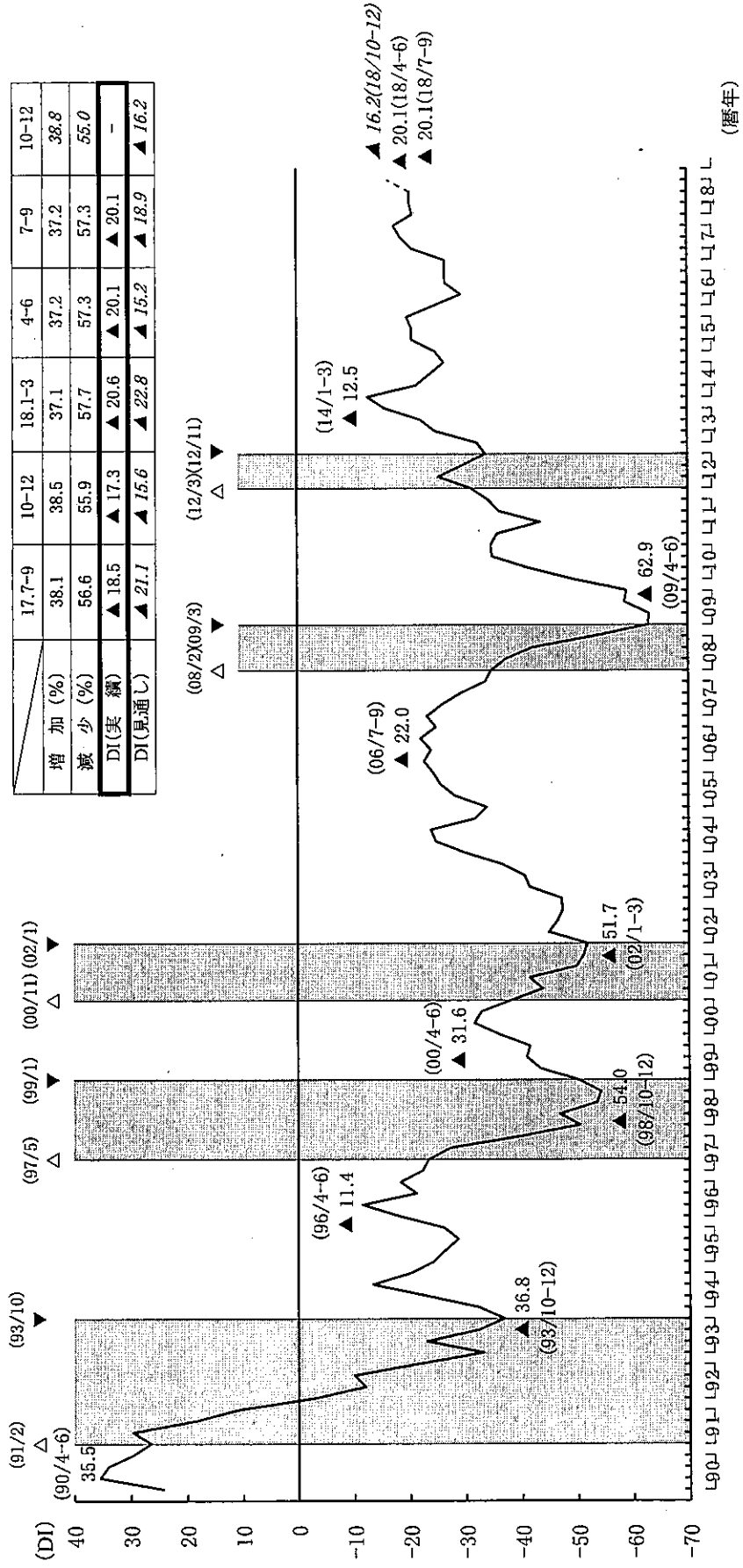




2 売上

- 今期の売上DI(全業種計)は、前回調査から横ばいの▲20.1となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

図一 4 売上DIの推移 (全業種計)



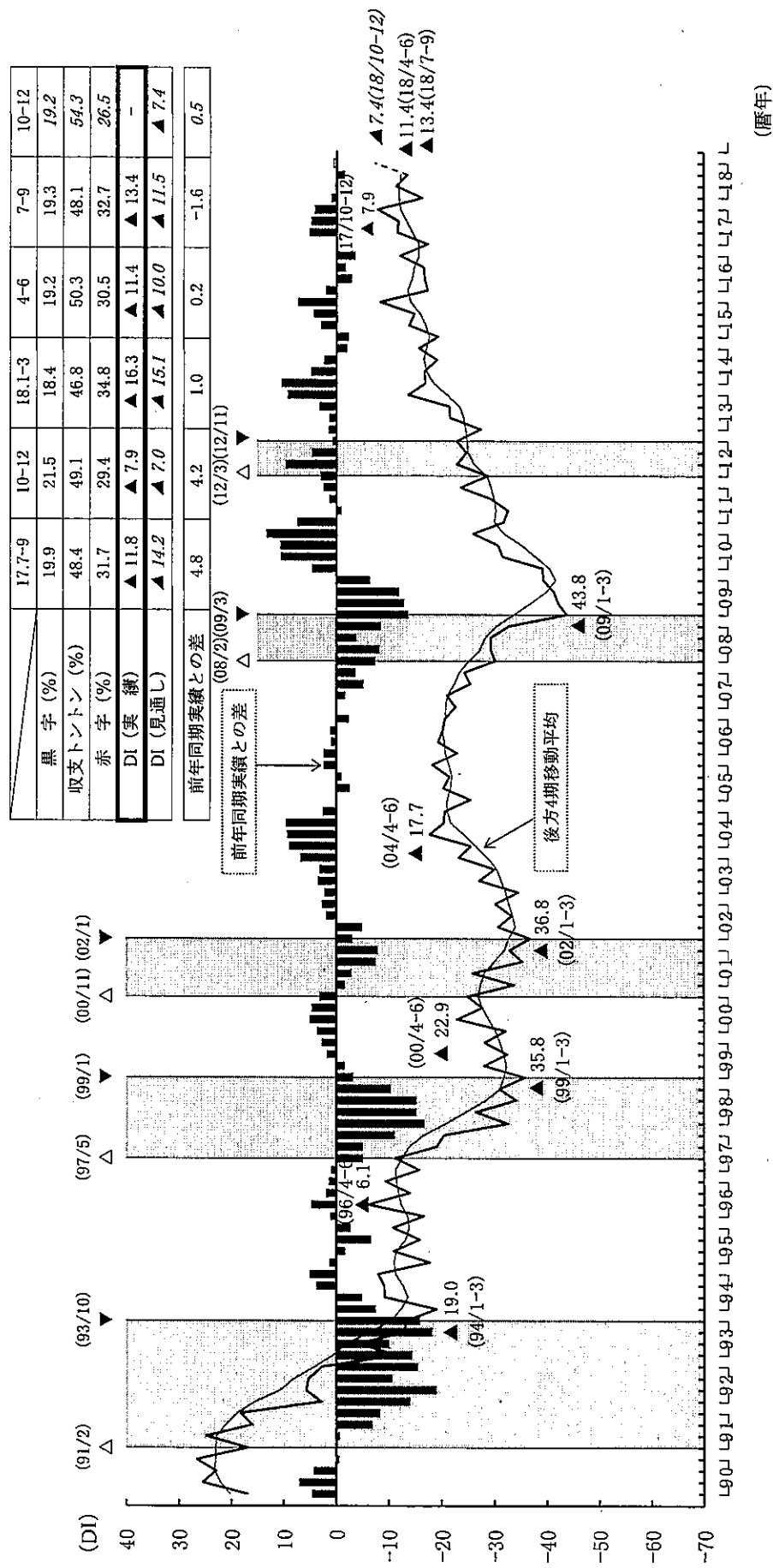
(注) 1 DIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

3 採算

- 今期の採算DI(全業種計)は、前回調査からマイナス幅が2.0ポイント拡大し、▲13.4となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

図一5 採算DIの推移 (全業種計)

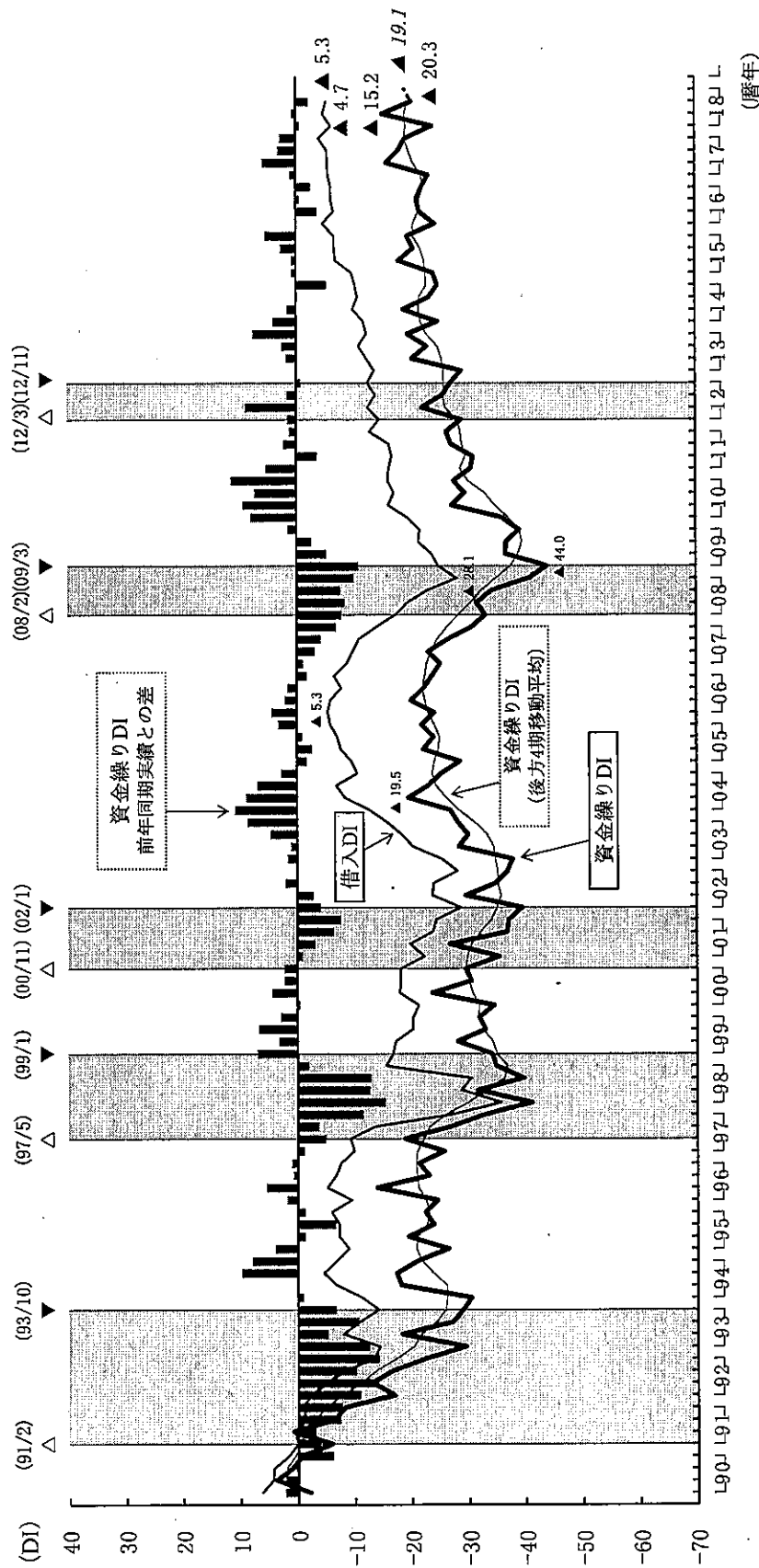


- (注) 1 DIは、「黒字」と回答した企業割合から「赤字」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 ——— は実績、----- は見通し。
 3 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前回調査からマイナス幅が5.1ポイント拡大し、▲20.3となった。来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前回調査からマイナス幅が0.6ポイント拡大し、▲5.3となった。

図一6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）

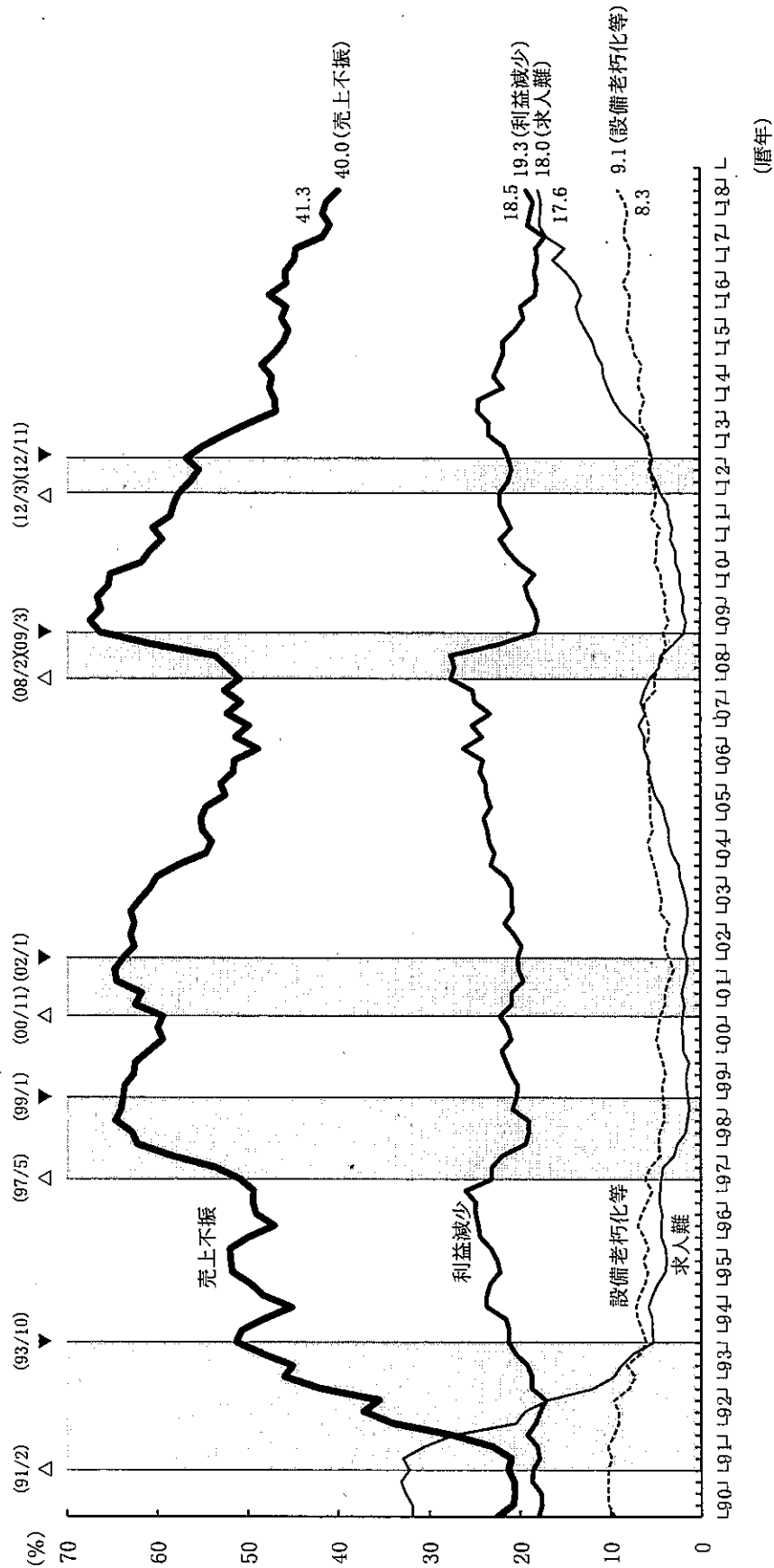


- (注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。
 3 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 4 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

5 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が40.0%と依然として最も多く、次いで、「利益減少」（19.3%）、「求人難」（18.0%）の順となっている。

図一七 経営上の問題点の推移（全業種計、上位4項目）

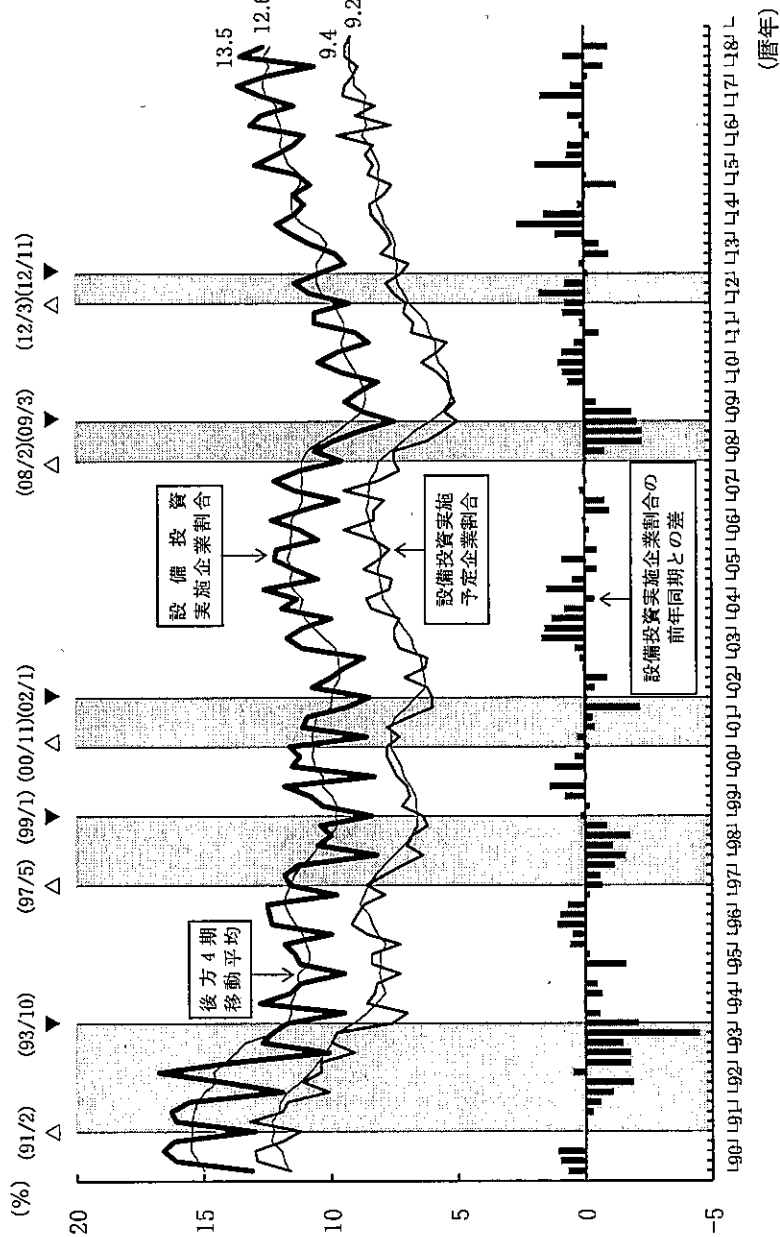


(注) 経営上の問題点（上位4項目）とは、当面の経営上の問題点について択一式で回答を求め、上位4位までを示したものの。

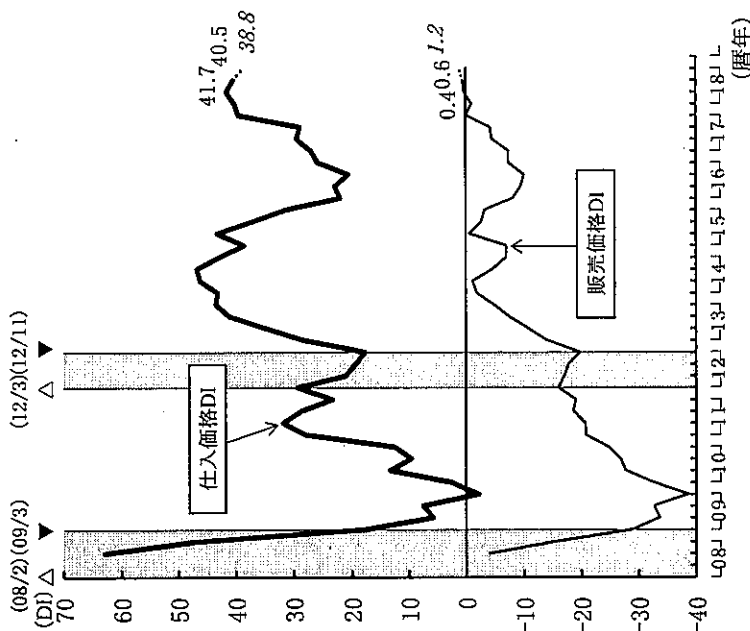
6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、0.9ポイント低下し、12.6%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、0.2ポイント上昇し、0.6となった。来期も上昇する見通しである。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、1.2ポイント低下し、40.5となった。来期も低下する見通しである。

図－8 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計）



図－9 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 ———は実績、-----は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 3 2008年7-9月期から調査を実施。

中 小 企 業 編

(2018年7-9月期実績、10-12月期および2019年1-3月期見通し)

中小企業の景況は、緩やかに回復している

[調査の実施要領]

調査時点 2018年9月中旬
 調査対象 当公庫取引先 (原則従業員20人以上) 13,292社
 有効回答数 6,062社 [回答率 45.6 %]

<業種構成>

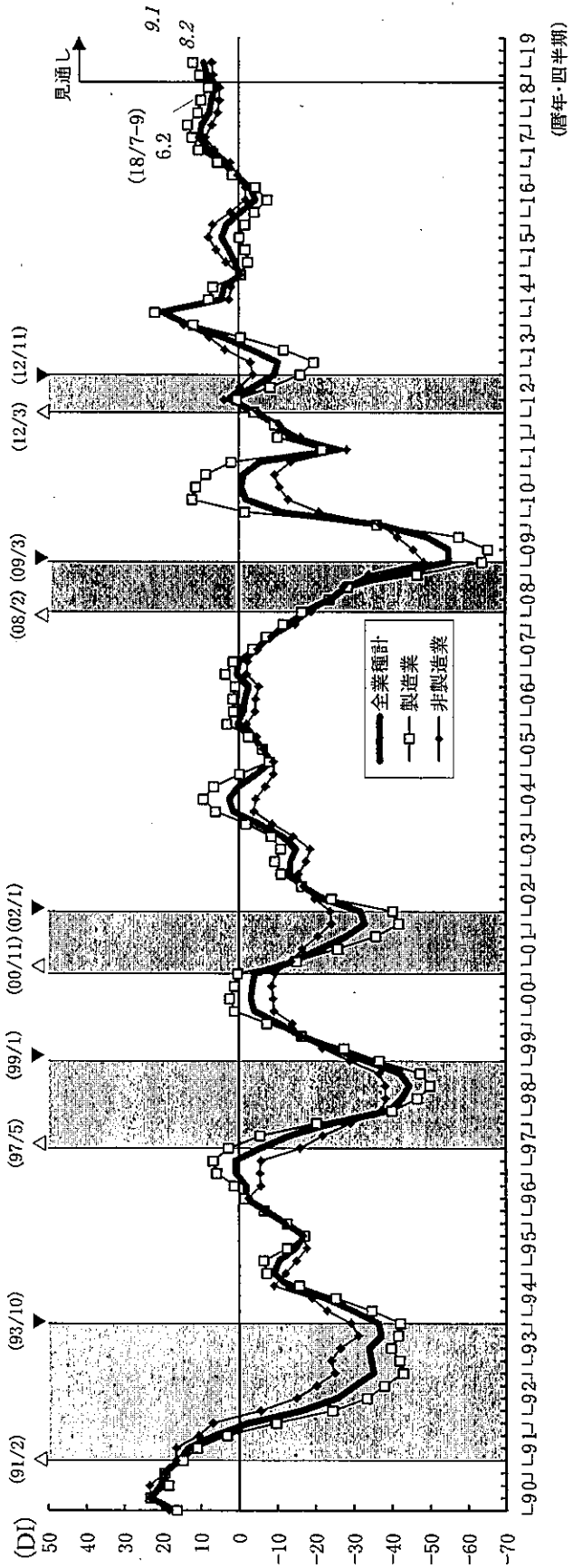
| 業種 | 調査対象数 | 有効回答数 | (構成比) |
|------------|-------------------|--------|-------|
| 製造業 | 5,405社 | 2,585社 | 42.6% |
| 鉱業 | 26社 | 17社 | 0.3% |
| 建設業 | 1,068社 | 529社 | 8.7% |
| 運送業(除水運) | 761社 | 380社 | 6.3% |
| 水産業 | 179社 | 89社 | 1.5% |
| 倉庫業 | 79社 | 37社 | 0.6% |
| 情報通信業 | 291社 | 116社 | 1.9% |
| ガス供給業 | 18社 | 10社 | 0.2% |
| 不動産業 | 859社 | 320社 | 5.3% |
| 宿泊・飲食サービス業 | 493社 | 183社 | 3.0% |
| 卸売業 | 1,832社 | 838社 | 13.8% |
| 小売業 | 918社 | 369社 | 6.1% |
| サービス業 | 1,363社 | 589社 | 9.7% |
| (参考) 資本金 | 100万円未満 | 46社 | 0.8% |
| 同 | 100万円～300万円未満 | 80社 | 1.3% |
| 同 | 300万円～1,000万円未満 | 526社 | 8.7% |
| 同 | 1,000万円～5,000万円未満 | 4,053社 | 66.9% |
| 同 | 5,000万円～1億円未満 | 1,100社 | 18.1% |
| 同 | 1億～3億円未満 | 212社 | 3.5% |
| 同 | 3億円以上 | 45社 | 0.7% |

1 業況判断

- 今期 (2018年7-9月期) の業況判断DIは、前期 (2018年4-6月期) から0.9ポイント低下し、6.2となった。
- 来期 (2018年10-12月期) は8.2、来々期 (2019年1-3月期) は9.1に上昇する見通しである。

図-1 業況判断DIの推移 (季節調整値)

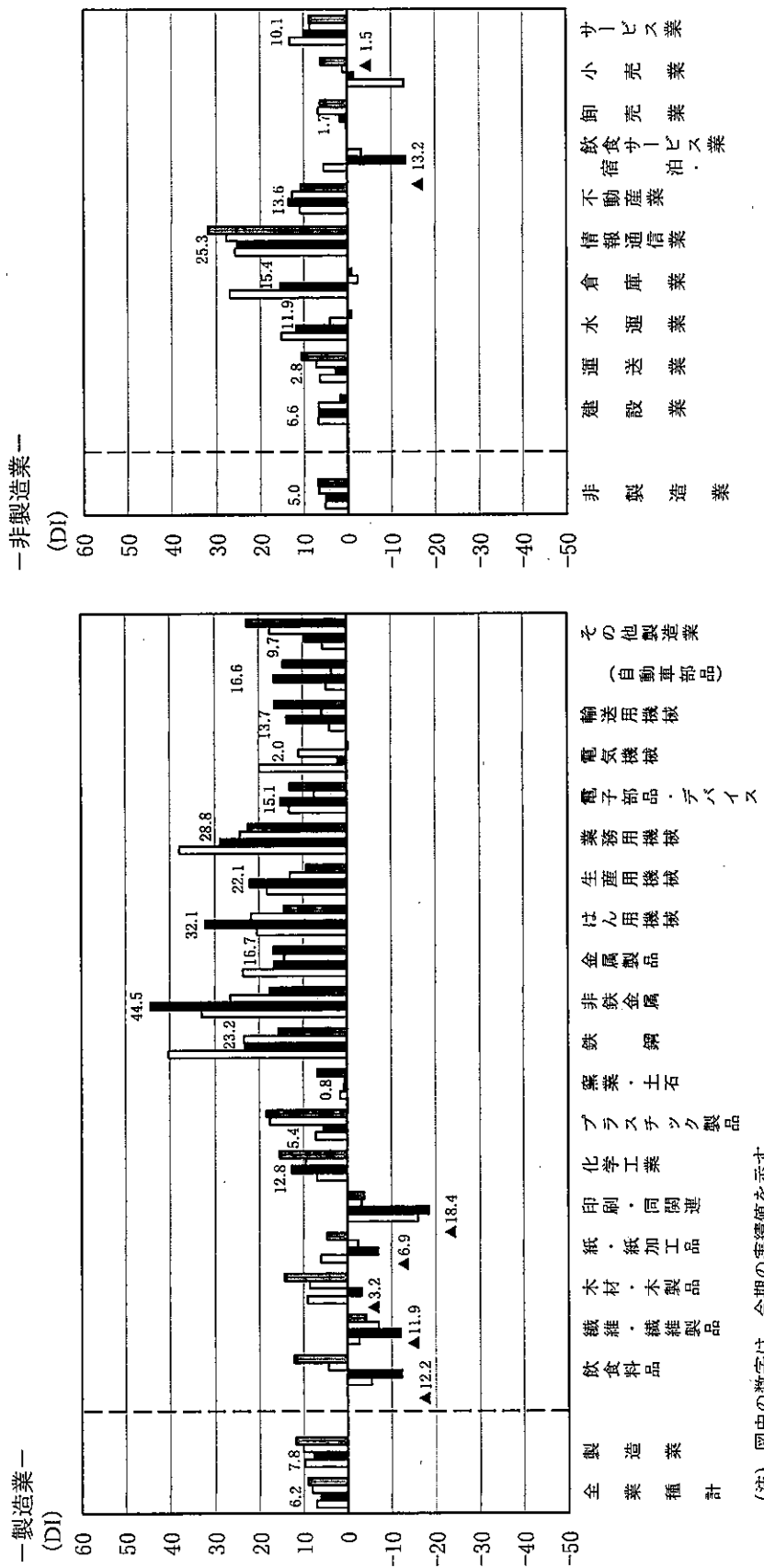
| | 2017/7-9 | 2017/10-12 | 2018/1-3 | 2018/4-6 | 2018/7-9 | 2018/10-12 (前回見通し) | 2019/1-3 |
|----------------|----------|------------|----------|----------|-------------|--------------------|----------|
| 業況判断DI (季節調整値) | 10.2 | 9.6 | 7.6 | 7.1 | 6.2 (9.4) | 8.2 (9.7) | 9.1 |
| 製造業 | 12.1 | 13.2 | 10.6 | 9.8 | 7.8 (11.8) | 10.2 (11.7) | 11.9 |
| 非製造業 | 8.7 | 7.0 | 5.5 | 5.1 | 5.0 (7.5) | 6.6 (7.9) | 7.0 |



(注) 1 業況判断DIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値 (季節調整値)。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

- 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、化学工業、非鉄金属、はん用機械、輸送用機械等が上昇した。一方、飲食料品、繊維・繊維製品、木材・木製品、紙・紙加工品、鉄鋼、金属製品、業務用機械、電気機械等は低下した。
- 非製造業は、小売業でマイナス幅が縮小する一方、倉庫業、宿泊・飲食サービス業等は低下した。

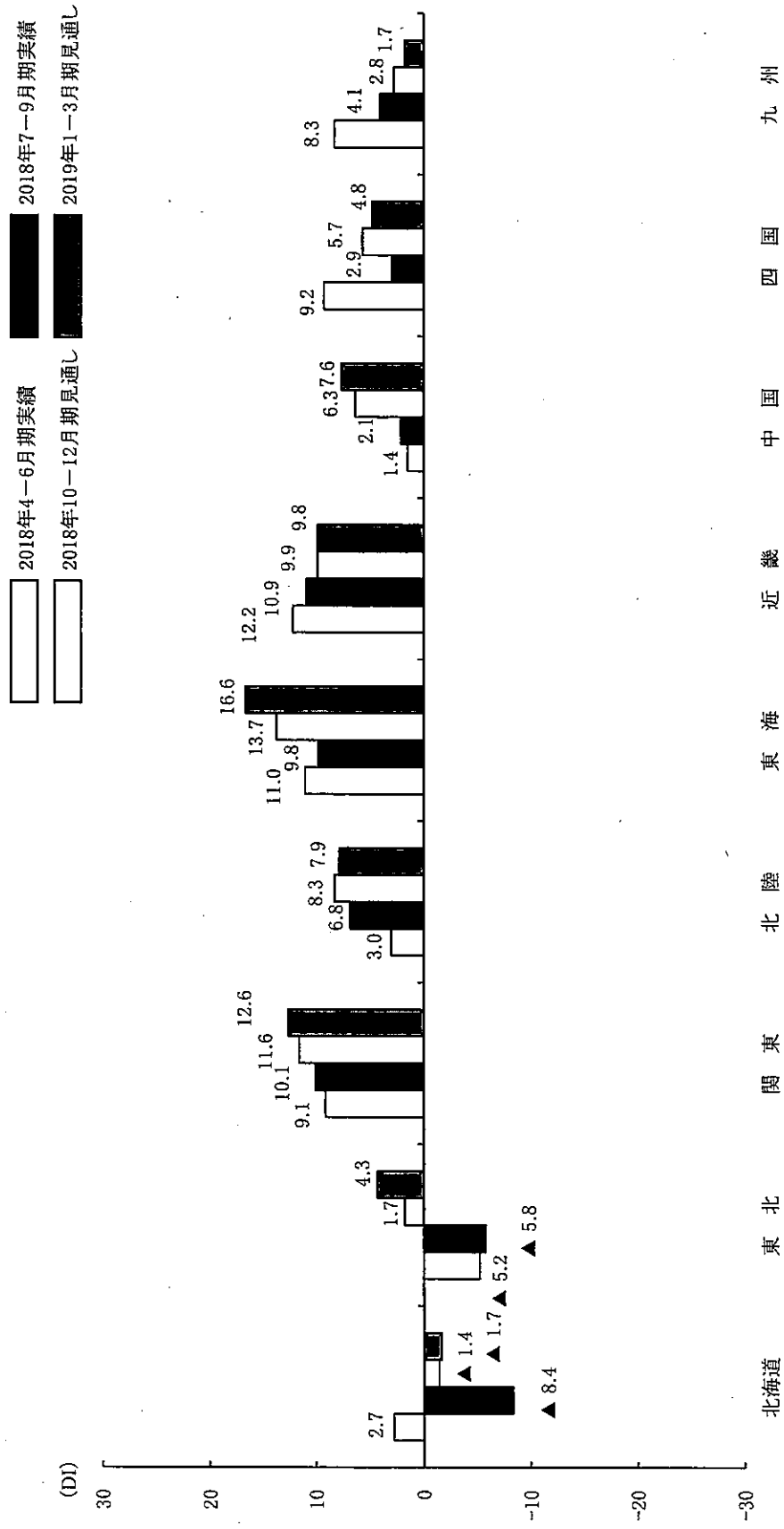
図-2 業種別業況判断DIの推移 (季節調整値)



(注) 図中の数字は、今期の実績値を示す。

- 業況判断DIを地域別にみると、今期は北海道、東北、東海、近畿、四国、九州の6地域で低下した。
- 来期は北海道、東北、関東、北陸、中国、四国の7地域で上昇する見通しである。

図-3 地域別業況判断DI (季節調整値)

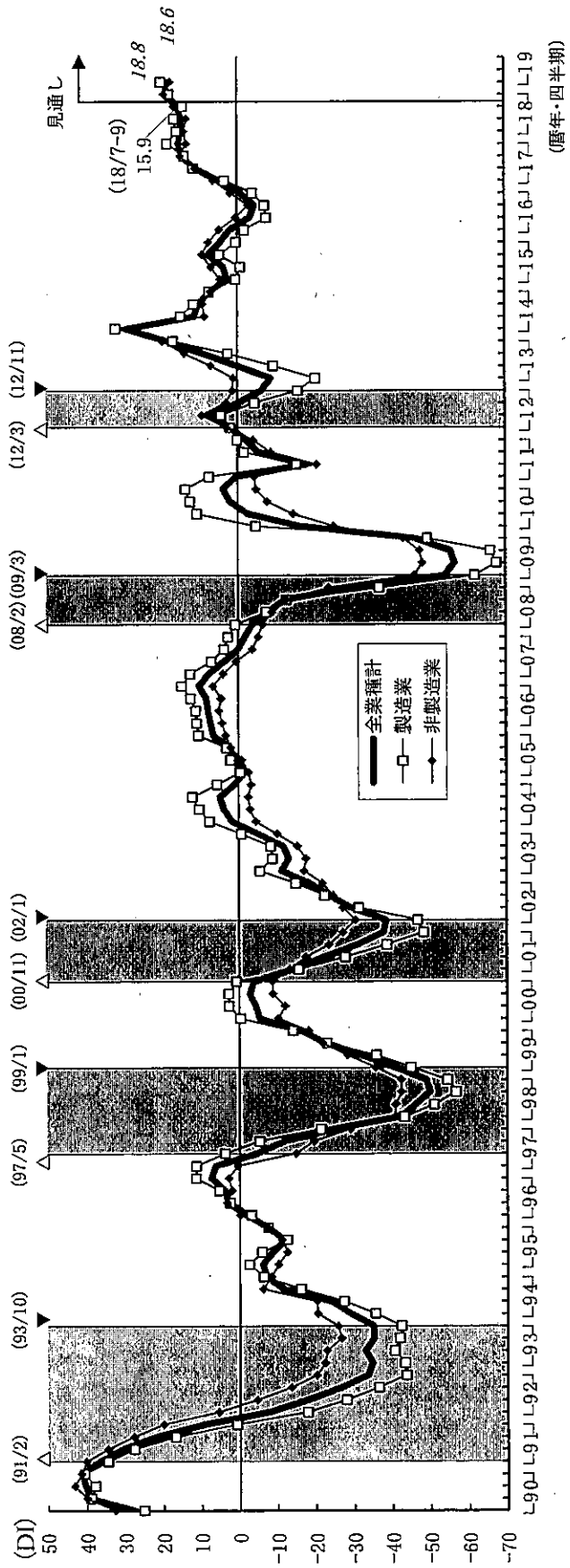


2 売上

- 今期の売上DIは、前期から1.2ポイント上昇し、15.9となった。
- 来期は18.8に上昇し、来々期は18.6となる見通しである。

図-4 売上DIの推移 (季節調整値)

| | 2017/7-9 | 2017/10-12 | 2018/1-3 | 2018/4-6 | 2018/7-9 | 2018/10-12 (前回見通し) | 2019/1-3 |
|--------------|----------|------------|----------|----------|--------------|--------------------|----------|
| 売上DI (季節調整値) | 14.6 | 15.4 | 14.7 | 14.7 | 15.9 (19.1) | 18.8 (18.3) | 18.6 |
| 製造業 | 13.8 | 18.4 | 15.9 | 16.6 | 14.2 (21.3) | 17.9 (20.2) | 20.0 |
| 非製造業 | 14.9 | 13.3 | 13.9 | 13.3 | 16.7 (18.1) | 19.3 (16.8) | 17.7 |



(注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合、「減少」企業割合 (季節調整値)。

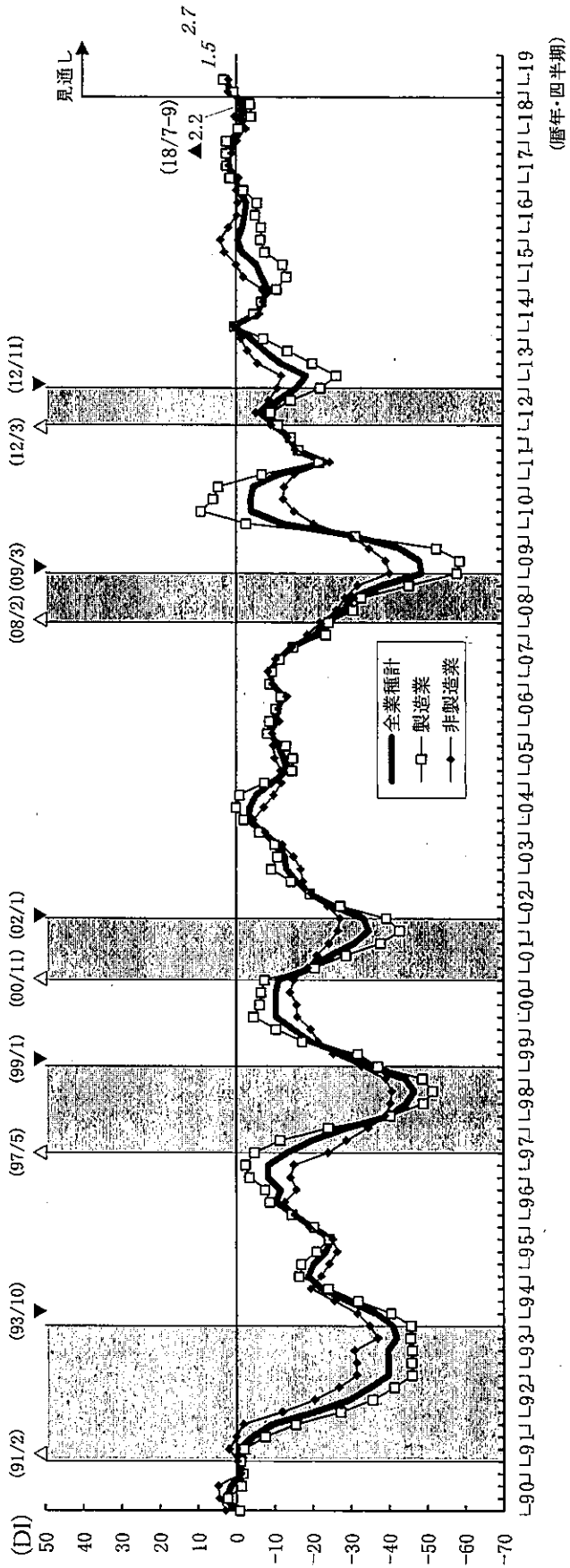
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

3 利益

- 今期の純益率DIは、前期からマイナス幅が0.9ポイント拡大し、▲2.2となった。
- 来期は1.5、来々期は2.7に上昇する見通しである。

図一5 純益率DIの推移 (季節調整値)

| | 2017/7-9 | 2018/1-3 | 2018/4-6 | 2018/7-9 | 2018/10-12 | 2019/1-3 |
|---------------|----------|----------|----------|-------------|------------|----------|
| 純益率DI (季節調整値) | 1.9 | ▲1.7 | ▲1.3 | ▲2.2 (1.4) | 1.5 (1.8) | 2.7 |
| 製造業 | 2.6 | ▲0.5 | ▲3.8 | ▲3.6 (0.2) | 0.7 (0.7) | 3.4 |
| 非製造業 | 1.3 | ▲0.2 | 0.5 | ▲1.2 (2.1) | 2.2 (2.2) | 2.1 |



- (注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合～「低下」企業割合 (季節調整値)。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

4 価格、金融関連

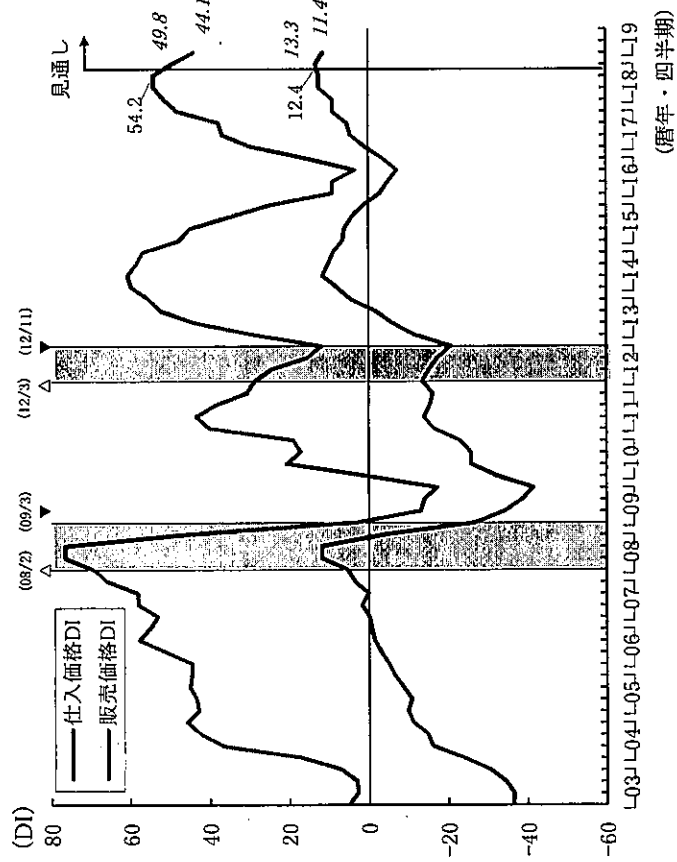
○ 今期の販売価格DIは、前期から横ばいの12.4となった。仕入価格DIは前期からほぼ横ばいの54.2となった。仕入価格DIは前期からほぼ横ばいの54.2となった。来期の販売価格DIは上昇、仕入価格DIは低下する見通しである。

○ 今期の資金繰りDIは前期から低下した。長期借入難易DI、短期借入難易DIはともに前期から低下した。

図一6 価格関連DIの推移 (原数値)

| | 2017/7-9 | 2017/10-12 | 2018/1-3 | 2018/4-6 | 2018/7-9 | 2018/10-12 | 2019/1-3 |
|--------|----------|------------|----------|----------|----------|------------|----------|
| 販売価格DI | 5.4 | 9.1 | 9.0 | 12.4 | 12.4 | 13.3 | 11.4 |
| 仕入価格DI | 37.8 | 48.3 | 51.5 | 54.1 | 54.2 | 49.8 | 44.1 |

見通し

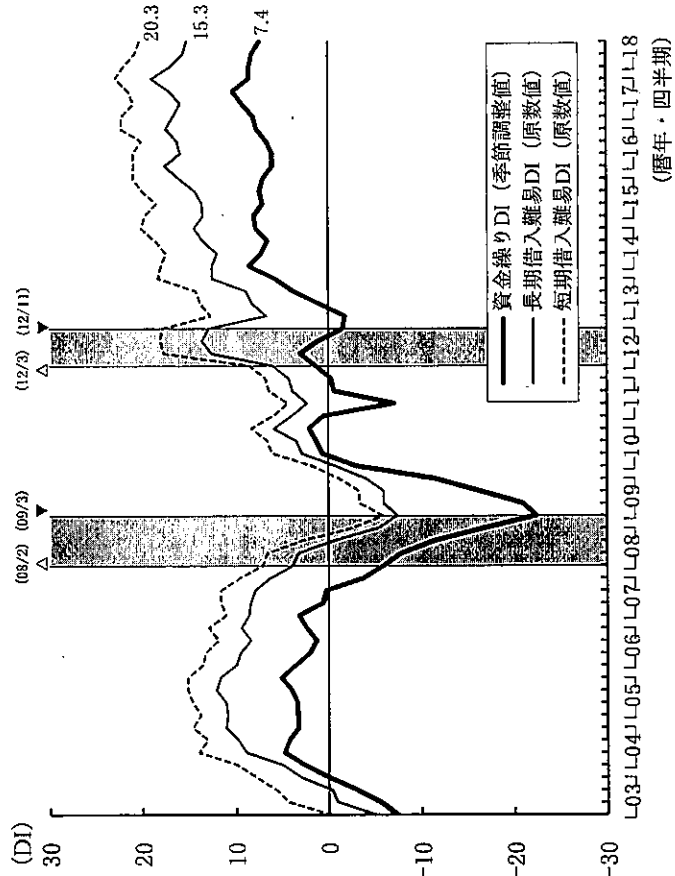


(注) 1 仕入価格DI、販売価格DIともに前年同期比で「上昇」企業割合「低下」企業割合 (原数値)。

2 図中の数字は今期実績および見通し(斜体)の値を示す。

図一7 金融関連DIの推移

| | 2017/7-9 | 2017/10-12 | 2018/1-3 | 2018/4-6 | 2018/7-9 |
|----------------|----------|------------|----------|----------|----------|
| 資金繰りDI (季節調整値) | 10.3 | 8.6 | 8.5 | 8.2 | 7.4 |
| 長期借入難易DI (原数値) | 17.1 | 19.0 | 17.0 | 15.7 | 15.3 |
| 短期借入難易DI (原数値) | 21.5 | 22.9 | 22.0 | 20.8 | 20.3 |



(注) 1 資金繰りDIは、前年同期比で「好転」企業割合「悪化」企業割合 (季節調整値)。

2 借入難易DIは、前年同期比で「容易」企業割合「困難」企業割合 (原数値)。

3 図中の数字は今期の実績値を示す。

5 雇用、設備

- 今期の従業員DIは、前期から横ばいの15.5となった。来期は上昇する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、前期から1.2ポイント低下し、40.6%となった。

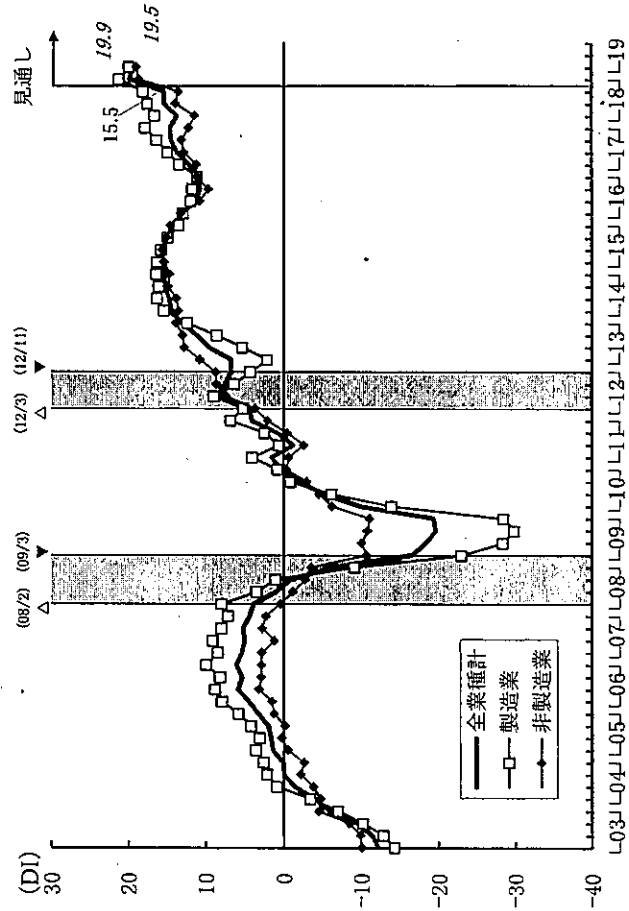
図-8 従業員DIの推移 (季節調整値)

| | 2017/7-9 | 2017/10-12 | 2018/1-3 | 2018/4-6 | 2018/7-9 | 2018/10-12 | 2019/1-3 |
|------|----------|------------|----------|----------|----------|------------|----------|
| 全業種計 | 14.5 | 14.7 | 13.8 | 15.5 | 15.5 | 19.9 | 19.5 |
| 製造業 | 16.3 | 17.8 | 16.6 | 17.5 | 18.1 | 21.3 | 19.9 |
| 非製造業 | 13.1 | 12.3 | 11.4 | 14.0 | 13.6 | 18.6 | 19.0 |

見通し

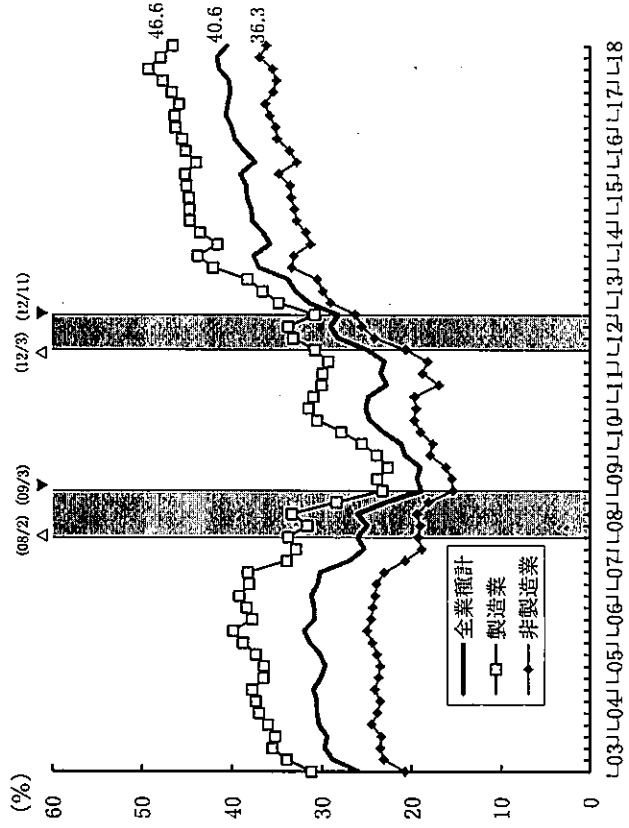
図-9 設備投資実施企業割合の推移 (季節調整値)

| | 2017/7-9 | 2017/10-12 | 2018/1-3 | 2018/4-6 | 2018/7-9 |
|------|----------|------------|----------|----------|----------|
| 全業種計 | 40.3 | 40.5 | 41.5 | 41.8 | 40.6 |
| 製造業 | 46.7 | 47.7 | 49.3 | 48.0 | 46.6 |
| 非製造業 | 35.5 | 35.2 | 35.6 | 37.0 | 36.3 |



(暦年・四半期)

- (注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合-「減少」企業割合 (季節調整値)。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。



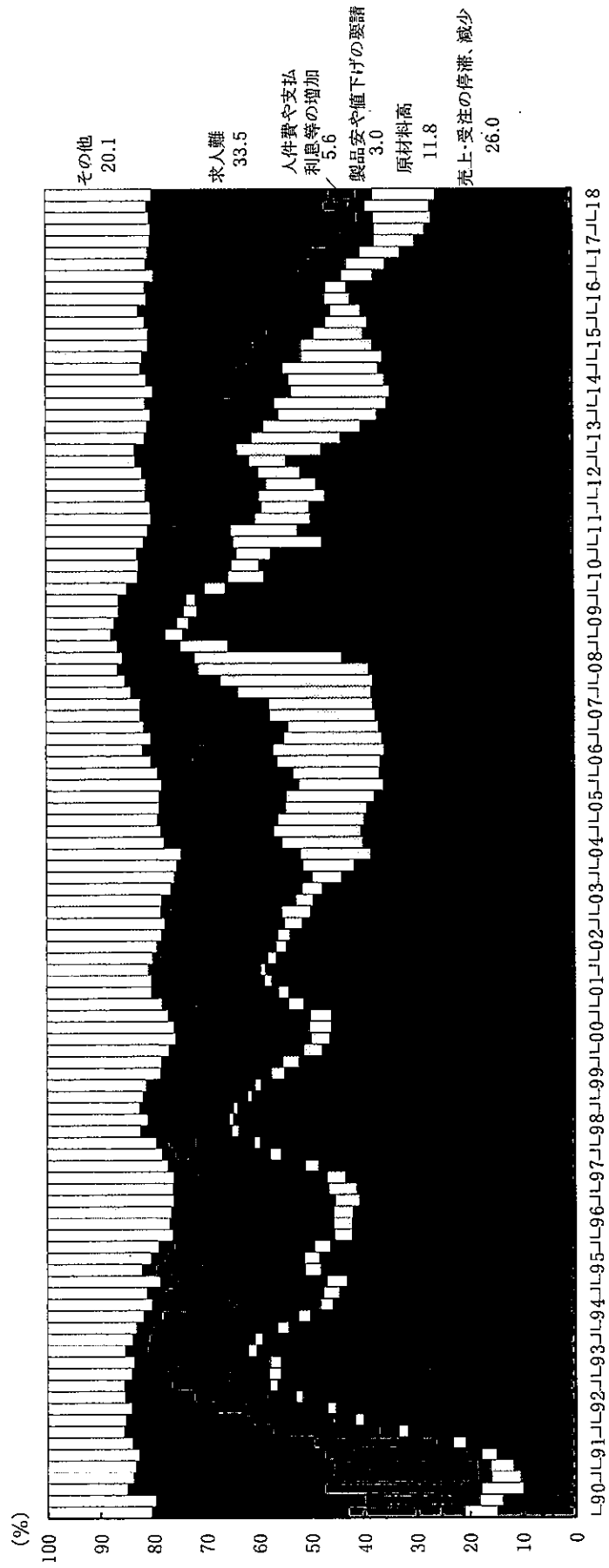
(暦年・四半期)

- (注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「求人難」が33.5%と最も多く、「売上・受注の停滞、減少」(26.0%)、「原材料高」(11.8%)となっている。
- 前回調査と比べると、「売上・受注の停滞、減少」は1.1ポイント、「原材料高」は0.4ポイント低下した。

図一10 経営上の問題点の推移



(暦年・四半期)